株っちょ！のファンタメンタルズ分析　フローチャート

kabu-cyo!

キャッシュフロー計算書
収益性や成長性を読み解くことに使うのではなく、資金繰りや現金の流れの変化から企業の安定性をチェックするには有効な資料

これが1番重要！
ここがプラスならまず潰れることはない

将来に備えた投資をしているかをチェックしよう。
よって、マイナスが悪いとはいえない

・営業キャッシュフロー
　通常業務（本業）における資金の出入り

・投資キャッシュフロー
　工場や研究への投資。固定資産の取得や売却などの資金の出入り

・財務キャッシュフロー
　資金の調達や返済の資金の出入り

合計して期首の現金残高を足すと手元に残る現金がわかる

そのため

新興企業や急成長企業への投資を検討する場合は過去のキャッシュフロー計算書を確認することが大切といえる！！

B／S　貸借対照表
お金をどのように調達して、どのような資産に換えて運用しているかを表しているのがバランスシートだ！！

資産
流動資産
現金
固定資産
無形固定資産
（のれん代）
↑
投資総額と総資産の差額をいう。
注　一括償却が禁止された

負債（他人資本）
流動負債
固定負債

資本（株主資本）
自己資本
↑
基本的に返済義務のない資本のこと

資産に占める株主資本の割合が
株主資本比率といい、安全性の目安になる。

一般的に30％以上なら安全。
50％以上あれば優良といえる。

株価

株価÷BPSで・・

1株あたりの純資産

BPS

PBR

株価総資産倍率
1株あたりの株主資本。
つまり、1倍に近付けば底
割込めば理論上は割安

株価収益率
成長性を見るには予想利益で測る

PER

株価÷EPS

株価

EPS
（1株利益）

当期純利益÷発行株式数

総資産

資産÷資本

財務レバレッジ

発行株式数で割ると・・

ROE
（株主資本利益率）

株主資産に対する当期純利益の割合

財務×ROAで・・

ROA（総資本利益率）

利益を得るための資産効率を表す

株主資本（自己資本）
・資本金
・法定準備金
・余剰金を合わせたもの

売上高　÷　総資産

総資産回転率

できるだけ少ない資産でより多くの売上を上げようとしているかを見極めよう

乗算すると・・

当期純利益　÷　売上高

売上高利益率

コスト削減しているか？付加価値の高い製品が売れるようになっているか？
などをチェックしよう

この数値が伸びているか？
これが原点だ！

売上高

当期純利益

売上原価を引くと・・

売上総利益（粗利）

諸経費（事務費用・人件費（給料）・研究費等）
を引くと・・

営業利益
（本業の儲け）

経常利益

特別利益・特別損失
（その年限りの項目）
および
税金を差し引くと・・

当期利益のみで判断はNG

営業外利益
営業外費用
を計算すると・・

P／L　損益計算書
決算期最終日の財務状態を表すものだが、時系列で決算数値のトレンドを確認することが大事である。